

議題（４）その他

白井市民大学校に係る入学者の減少について

【現状】

白井市民大学校は、市の最上位計画である「第5次総合計画」後期基本計画において、「戦略3 拠点創造プロジェクト」の「地域拠点でつながる健康なまちづくり」取組事業として位置づけられており、市民の地域活動を活性化させ、ひいては住民主体で地域を守り、支え合い、健康に暮らせる環境を整えることを目標に実施されている。

しかしながら、近年、入学者が減少しており、特に50歳代以下の入学者が少ない。

入学者数

平成28年度：3学部合計63人

平成29年度：3学部合計72人

平成30年度：2学部合計44人

平成31年度：2学部合計38人

令和2年度：コロナ禍により通年を中止、単発講座を開催

令和3年度：2学部合計25人

【課題】

60歳以上のシニアのみを対象としていない学部において、定員割れが続いている。

市としては、子育てや就業している年代は、学びに時間を割けない人や目標としている地域づくりに関心が低い人が多いのではないかと分析しており、カリキュラムの内容やアプローチの方法を模索している。

※生涯学習推進委員会では、白井市民大学校の方針を決定していただくのではなく、委員皆様の知識・経験に基づいたご意見（アドバイス）いただき、今後の企画・運営の参考とさせていただきたいと思っております。